

文

化

親の歳を迎えると、人何をかと思うという。親には親の、子には子の、それぞれ別的人生と寿命があるのだから、そう深く考えることはあるまいと高をくくっていた。

母・佐和子が急性心不全で他界したのは一九八四年の夏のことだった。享年五三。早い、まだ若いのにと言わされたが、まわりにはすでに親御さんを亡している友達もいたから、特に早いとは思

* * *

これは私が負う運命の

たが、はかどったためし

この資料と研究者の先生に

のした仕事を知る機会で

聞く特有の気分といふものか。いてもたっても高まってきた。これがよ

いられなくなつて始めた

整理だつた。それが、母の遺した資料の

整理は学生時代に、そ

れが何かわかるものにつ

いてはひと通りやり、そ

の後も折々にやつてはぎ

たが、はかどったためし

親の歳

有吉玉青



ありよし・たまお
1963年東京生まれ。作家。90年「身がわり」で坪田讓治文学賞。著書に「恋するフェルメール」「美しき一日の終わり」「ソボちゃん」など。

わなかつた。それに当時二十歳だった私にとって、五三はもう充分に年寄りだったのである。

自分がその歳になるのはずつと先は速い。その後に迫つてから、母が急逝したせいもあるう、

ひとつだ。資料というのは原稿やノート、掲載誌や参考文献だけではない。作家が撲つたものならば、こよりひとつも文

う。 * * *

の作家が自分の母だなん

字が読めるようになつて

いた。これが三十多年経

った、ということなのか

かもしれない。さらに、母

の研究をしてきたわけ

はないのに、これまで何

のメモか皆目見当つか

なかつたものもおおよそ

の察しがつく。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい

きたいと思うようになつ

た。

資料の整理は決して片

手間にはできない。思ひ

きつて自分の活動のほう

は休んで奮闘していた

ら、お母様は幸せですね

とよく言われた。母が喜

ては喜べない。時が流

れて泣いたものだつた。

うそのようだから少し

くらいいいだろう。そ

していつしか、この作家

の仕事を正しく伝えてい